

幼児を主に 対象としたプログラム



真っ白で大きな入道雲，抜けるような青空，力みなぎる日の出，真っ赤に染まる夕焼け，蝉の声，生き物の命の営み，土の香り，夕立の激しさ，透き通る雪の結晶・・・
遊びの中で培われる不思議なものへのあこがれ，豊かな生活体験。

幼児期は，自然に触れて遊びながら，自然の偉大さ，美しさ，不思議さ，心地よさなどを全身で感じとる時期です。この時期に，自然と出会い，心が動かされる体験をすることは，自然に対する畏敬の念，親しみ，愛情などの感性を育てるばかりではなく，将来にわたって必要な科学的な見方や考え方の芽生えを培います。また，実際に草花や身近な生き物に触れることで，生命の営みや不思議さに出会い，やがて，生命の尊さに気付いて，いたわったり大切にしたりするようになります。

テレビやビデオなどを通しての間接体験の機会が増えてきている現代，幼児期には，自然と直接触れ，五感を使って遊ぶ機会を設けることが大切です。

幼稚園や保育所では，幼児が自然に関わり，豊かな体験をしながら，知的好奇心，思考力，感性などが育まれるよう，意図的，計画的に環境を構成していくことが大切です。

目次

草花で遊ぼう 	8
水辺の生き物 かくれんぼ  	12
土の上や土の中の生き物を探そう  	14
イチゴを摘みに行こう  	16
雨の日に遊ぼう  	18
たねや木の実で遊ぼう 	20
これって、こおり？  	24

草花で遊ぼう

時期 春～秋

時間 1～2時間

場所 園庭, 公園

- 園庭や近隣の公園に出かけ、草花を見つける。
- 飾ったり、見立てたりしながら草花で遊ぶ。

ねらい

親しむ ・五感を使い、四季折々の草花に触れながら、植物への興味や関心を育てる。

幼児



活動展開例

準備物	・草花を収集したり、遊んだり飾ったりするための容器（かご、ポリ袋、プリンカップなど）		
	時間	活動内容	留意点
展開	事前	○降園時の活動で、ナズナ（ベンベンクサ）の音を聞く。	・様々な草花を紹介し、幼児の興味や関心を高める。
	10分	○様々な草花が生えている園庭や公園へ行く。	・道中の草花に目が向くようにする。 ・幼児の安全に留意する。
	30分	○触ったりにおいをかいたりしながら草花を集める。（シロツメクサ、タンポポ、ハルジオン、オオバコ、ナズナ、スギナ など）。 ・どんなにおいかな？ ・葉っぱがざらざらするね！ ・なめたら甘いかな？	・様々な草花を集められるようにする。 ・五感を使って草花に関われるような言葉かけをする。 ・ハチなどの危険な生き物に注意する。 ・事前に採ってはいけない花があることを知らせておく（他人の花、プランターの花など）。 ・採集の時に指を切りやすいものがあることを伝える。
	40分	○教師の手本を見て、草花で遊ぶ。	・事前に植物の名前や遊び方を調べ、教師も一緒に遊ぶ。 ・幼児の活動の様子に応じて、植物の名前を知らせる。
	40分	○園に戻って草花を飾ったり、使って遊んだりする。 ・ままごと、ジュース屋さん、ケーキ屋さん等	・遊びの発展によって、道具を準備する。（カップ、ポリ袋、ザル、かご、紙、セロテープ、輪ゴム など）
	事後	○草花の絵本や図鑑を見る。	・幼児の興味や関心を高めるような絵本や図鑑のコーナーを設ける。

活用ガイド

○遊び方(春の草花編)

★集めて★



みてみて!!
きれいでしょ!

★想像して★



何をつくろうかな?

★作って★



葉っぱの隠れ家よ!

★身に付けて★



気分はハワイアン
素敵でしょう!



顔にいっぱい
くっつけて変身!
(チドメグサ)



お花のめがね
(シロツメグサ)



お花のブレスレット
(シロツメグサ)



指輪にしようかな?
(タンポポ)

★遊んで★



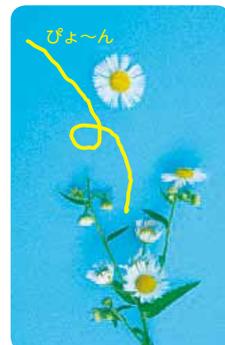
ツルで縄跳び



引っ張り相撲!!
どちらが強いかな?
(オオバコ)



切り離れたところを
戻してどこが切れて
るのかな?
(スギナ)



指でつまんで、
花飛ばし
(ハルジオン)
(ヒメジョオン)



糸を切らないように
葉っぱを引けるかな?
(オオバコ)



わたげ飛ばし
(タンポポ)

幼児



★見立てて★



花火みたいでしょう！
(カヤツリグサ)



泡立て器
(メヒシバ)



毛虫
(エノコログサ)



ままごとのゴマに
なるよ
(イヌタデ)



花を取ると、
スーッと綿みたい
なのができるよ
(ハハコグサ)

★水と組み合わせて★



ビー玉みたいで
きれいでしょ！
(ハスの葉・
サトイモの葉)



笹舟，お水に
浮かばせたいなあ
(ササの葉)



タンポポの茎を裂いて水に
つけるとクルツとなるよ
棒を差すと，水車になるよ
(タンポポの茎)

幼児



○発展

- ・種を集めて育ててみよう
- ・押し花を作ってみよう
- ・夏の草花，秋の草花はどれかな？
(夏) アサガオ，ササ，ツユクサ，オシロイバナ など
(秋) オナモミ，コスモス，エノコログサ，メヒシバ，ススキ など

本プログラムの作成において参考とした文献

- 出原 大 「自然＊植物遊び一年中」 学研教育出版 (2010)
- ながた はるみ 「植物あそび」 福音館書店 (1998)
- 高橋 秀男 「ふしぎ・びっくり!?こども図鑑くさばな」 学習研究社 (2004)
- 高橋 秀男・無藤 隆 「しょくぶつ (フレーベル館の図鑑 ナチュラ)」 フレーベル館 (2004)
- 学研幼児ソフト企画開発部編 「あそびのおうさまずかん・くさばな」 学習研究社 (2002)
- 「こどものずかんMio〈7〉くさばな・き」 ひかりのくに (2005)
- 門田 裕一 「植物 (小学館の図鑑NEO)」 小学館 (2002)
- 和田 浩志・岡田 比呂実・吹春 俊光 「植物 (小学館の図鑑NEOポケット)」 小学館 (2010)

水辺の生き物 かくれんぼ

時 期 春～夏

時 間 1～2時間

場 所 川原, 小川など

- 川原に出かけ, 水辺や川原で遊ぶ。
- 水の感触を楽しんだり, 生き物を探したりして遊ぶ。

ねらい

親しむ

- ・水辺で遊ぶ面白さを味わわせる。
- ・水辺の生き物を探し, 触れたり観察したりすることを通して興味や関心を育てる。
- ・水で遊ぶ楽しさや心地よさを感じさせ, 水に親しむ態度を育てる。

幼児



活動展開例

準備物	・タオル ・濡れてもよい靴 (かかとのあるもの) ・帽子 ・飼育箱 ・生き物図鑑		
展 開	時間	活動内容	留意点
	事前	○水の中の生き物に関する絵本を見る。	・日頃より, 機会を捉えて, 幼児の興味や関心を高めておく。
	10分	○教師の話を聞く。	・川には危険な場所があることを知らせ, 安全に留意する。特に石の上は滑りやすいので気を付ける。
	15分	○近くの水辺や川原に出かける。	・行き帰りの交通安全に留意する。 ・幼児の体調管理に十分配慮する。
	30分	○川に入って, 生き物を探す。	・怪我をしないように, 上履きなどかかとのある靴, 帽子を着用させる。 ・石の下や, 岸の陰など, 生き物が住んでいそうなポイントを知らせる。
10分	○見つけた生き物を, 飼育箱の中に入れる。 ○生き物を観察する。	・採取した生き物は飼育箱に入れ, できるだけ幼児が自由に観察できるようにしておく。その際, 採取しすぎないように注意する。 ・日差しが強い所や暑い日は, 飼育箱の水温が上がってしまうので, こまめに水を取り替える。	

幼児



展 開	20分	○どのようなところに生き物がいたか思い出 し、そっと元のところに返す。	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物図鑑を用意しておくとな名前を調 べることができるが、あまり厳密な検 索は必要ない。 ・幼児が採取した生き物を飼育したいと 申し出たときは、その生き物にとって どんなところが住みやすいのかを考え るよい機会になる。幼児の疑問や考え を生かしながら、生き物の命の大切さ を感じられるようにする。
	事後	○生き物を飼う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に生き物を飼育する際には、その 生き物にとって住みやすい環境を考え 、試したり工夫したりしながら飼育 できるようにする。

活用ガイド

川原の石で遊ぼう!!



いろんな
お顔
(^o^)



みずきり



何回跳ねるかな？
平らな石を見つけるのがポイント!

ザリガニを釣ってみよう!!

身近な小川等でザリガニを釣ってみよう。木の枝や竹などに糸を結び付け、えさはスルメなどを付けましよう。いろんなエサで試してみるのもおもしろい!



【裏技! → 豚肉(生)で釣るとよく釣れますよ!!】

土の上や土の中の生き物を探そう

時 期 春～秋

時 間 1～2時間

場 所 園庭

- 土の上や土の中の生き物を探す。
- 土の感触を味わったり生き物に触れたりする。

ねらい

- 親しむ
- ・身近な生き物を見たり触れたりしながら、生き物への興味や関心を育てる。
 - ・積極的に発見したり探索したりする態度を育てる。

幼児



活動展開例

準備物	・ミニスコップ ・ポリ袋 ・生き物図鑑		
展 開	時間	活動内容	留意点
	事前	○朝の集まりの時間に、クイズ「ミミズのアタマはどっち？」をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に生き物を探してみ、図鑑で名前や生態などを調べておく。 ・身近な生き物への興味や愛着がもてるようにする。
	40分	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園・保育所や家のまわり、裏庭などの石を裏返したり地面を掘ったりして生き物を探す。 ○生き物をつかまえたり、見せ合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探す場所は幼児にまかせる。 ・教師も一緒に探しながら、生き物の生態などについてさりげなく伝える。
	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○探した生き物について、教師や友達、家の人と話す。 <ul style="list-style-type: none"> ・こんな所に住んでいたんだよ。 ・何を食べているのかな？ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・土の中の生き物の役割や様子について絵本などを見ながら一緒に考えられるようにする。 ・採取した生き物をどうするかについては、幼児に考えさせ、可能な限り、幼児の意見を取り入れる。 ・土や生き物に触れた後は、きれいに手を洗うように声をかける。
事後	○生き物を飼育ケースに入れてならべ、生き物ランドを作ったり、採取した生き物のクイズを考えたりして楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物ランドを作りながら生き物が好む環境についても触れ、命の大切さにも気付けるようにする。 	

活用ガイド

ミニミニ虫取りあみ

小さな虫取りあみに子どもたちは大興奮！
大好きなアリやダンゴムシ、トンボを夢中でつかまえようとする
子どもたちの姿を見ると、うれしくなりますよ！！

●用意するもの

- ・竹などまっすぐな棒
- ・針金（写真のものはステンレス）
- ・台所の流し排水溝用ネット

用意するもの



●作り方

- ①竹の先端（横方向）に、キリ等で穴を開ける。
（針金を通すため）
- ②開けた穴に針金を通し、同時に排水溝用ネットを針金で縫うように通していく。
- ③排水口用ネットが適当な大きさになるように針金で押し広げながら調整する。
- ④余った針金を竹に巻きつけて固定させ完成。
（余分な針金は切る）

完成！！



幼児



どっちが、アタマ？



上のミミズの写真。
右がアタマ？左がアタマ？

こんな不思議を子どもたちと話し合ってみてはいかがでしょう？
おもしろい答えがでてくるかもしれませんね。

正解は??

リングのような模様が
ついている方がアタマです。

どこ通る？

スタートとゴールの真ん中左にはトンネルがありますが、右は何もありません。



これは、「ダンゴムシはトンネルがあるほうとないほう、どちらを通りゴールするか？」の実験ボックスです。
ダンゴムシ約10匹をスタートに置くと、ダンゴムシはどんな行動をするのか。

子どもたちも興味津々、応援する子がいたり、ジッと見ている子がいたり。一緒に観察し、楽しみましょう。

イチゴを摘みに行こう

時 期 春～初夏
 時 間 1～2時間
 場 所 イチゴ農園

- イチゴの成長や実りを目で確かめる。
- イチゴを収穫し、味わう。

ねらい

- 親しむ** ・身近な作物の成長や実り、季節についての興味や関心を育てる。
 ・自分で収穫し、味わう喜びや、おいしい食物を与えてくれる自然に感謝する心を育てる。
- 知る** ・栃木県はイチゴの産地として有名であることを知らせる。

活動展開例

準備物			
・イチゴを収穫するための容器（大きめの蓋付きプラスチック容器）			
展 開	時間	活動内容	留意点
	事前	○おやつでイチゴを食べる。	・イチゴについてクラスの話題になるようにする。 ・掲示物などを工夫し、模擬収穫ができるようにする。
	10分	○イチゴが実っている農園へ行く。	・道中の幼児の安全に留意する。 ・栃木県はイチゴの産地として有名なのでイチゴを育てている農家がたくさんあることを伝えておく。
	10分	○イチゴの実りを観察する。 ・花 ・赤い実、青い実 ・葉や茎 ・太陽の役割 など	・全員が観察できる位置にいるかを確認する。 ・ハチに注意する。 ・農園でのマナーについて確認する。
	30分	○収穫し、食べる。	・「いただきます」と「ごちそうさま」をし、育ててくれた農家の方や、自然の恵みに感謝できるようにする。
	30分	○園に戻り、感動を伝え合うとともに、他の食物についても話し合う。	・図鑑などを幼児の目に触れやすい場所に準備しておく。
事後	○農園の人に教わりながら、イチゴを育てる。	・農園の人に、時々、来園してもらうなど、継続的に関わりがもてるようにする。	

幼児



活用ガイド

○収穫の仕方(練習編)



①チョコキを作る



②指で茎をはさむ



③おなかの方へ引っ張る

○活動の様子



赤いいちご・青いいちご
どっちがおいしいかな？



何個採れたかな？



見て！見てー！！
おいしそうでしょう！

○実施した効果(活動を振り返って)

- ・店に並んでいる他の野菜や果物もどのように育っているのかを考えるきっかけとなった。
- ・植物を進んで世話するようになった。(プランターの水やり等)
- ・食わず嫌いがなくなった。

○発展

- ・ジャムを作って食べてみる。
- ・自分たちで育ててみる。
 - ①タイヤの真ん中に土や肥料を入れる。
 - ②イチゴの苗を植える。(9～11月頃)
 - ③冬になったら越冬のため、黒いビニールを掛ける。
 - ④春になり実り始めるとカラスなどが狙ってくるので、かかしなどを工夫して作るとよい。
- ・ジャガイモ・サツマイモ掘りをする。 ・四季と実りに興味をもつ。
- ・野菜や草花の栽培や収穫。 ・太陽の働きに関心をもつ。
- ・他の実と比べてみる。

○イチゴ農園について

イチゴ狩り専門の農園もありますが、お近くのイチゴ栽培農家の方に相談してみてください。出荷の最盛期が終わりになる頃(地域によりますが5月下旬～6月初旬)に受け入れて下さるかもしれません。その場合、料金や収穫の仕方などの打合せが必要です。また、次年度のためのイチゴ栽培の準備がありますので、早い時期に交渉することをお勧めします。

本プログラムの作成において参考とした文献

- 平山 和子 「いちご(幼児絵本シリーズ)」 福音館書店(1989)
- 島津 和子 「いちごばたけができたよ(かがくのとも)」 福音館書店(2010)

幼児



雨の日に遊ぼう

時 期 春～夏

時 間 1時間

場 所 園庭, 園周辺

- 雨が小降りになった時や、やんだ直後に外へ行き、空を見たり周囲のにおいをかいだり、生き物や植物の様子を観察したりする。
- 木や遊具の下に立ち、上から落ちるしずくで遊ぶ。
- 水たまりで遊ぶ。

ねらい

親しむ ・雨の日の生き物や植物の様子に興味をもち、観察しようとする態度を育てる。

知る ・雨の日や雨上がりの遊びを通して、晴れの日と雨の日の違いを感じさせる。

活動展開例

準備物	・傘 ・雨合羽などの雨具 ・長靴 ・着替え ・タオル		
	時間	活動内容	留意点
展 開	事前	○「でんでん虫」「あめふりくまの子」などを歌う。	・雨に興味をもったり親しんだりできるように、朝や降園時に歌ったり手遊びをしたりする。
	5分	○雨の日と晴れの日ではどのような違いがあるのか、生き物や植物はどのような様子なのかなど、観察する視点を聞く。	・空や生き物や植物の様子、周囲のにおいの変化などに興味もてるような言葉かけをかける。 ・外に出たがらない幼児には、窓から見える様子で雨を感じさせるなどの工夫をし、少しずつ外に興味をもたせるようにする。
	5分	○雨合羽の着用や、傘の扱い方を聞き、園庭に出る準備をする。	・傘の使い方や身支度の仕方などを伝える。
	40分	○雨の日の生き物や植物の様子を観察する。 ○木の上から落ちるしずくや、遊具にたまった水で遊ぶ。 ○水たまりで遊ぶ。	・上から落ちるしずくの感触を味わえるようにする。 ・水の流れる方向（高→低）などに気付かせるようにする。 ・幼児の遊びの広がりによって材料や道具を準備する。 ・夕立や雷などを見る時は、安全を確保する。
	事後	○雨の日に変化する植物を育てたり生き物を飼育したりして観察する。	・幼児の興味や関心に応じて、継続して関わられるようにする。

幼児



活用ガイド

○遊び方

=生き物や植物を観察しよう=



かたつむり、みつけた



かたつむりを飼ってみるのも面白い。食べ物によってうんちが変わる！

=しずくで遊ぼう=



素敵な指輪でしょ



しずくがついた遊具にお絵かき

幼児



=傘で遊ぼう=



並んだ、並んだ



傘でぐるぐる



カラフル傘、いいでしょう

=水たまりで遊ぼう、雨上がりに遊ぼう=



つながった、つながった。川になったよ



ぺったぺたのケーキ屋さん



いらっしゃいませ、クッキーはいかが？



コーヒー牛乳です。

《雨の日に変化する動植物》

～花～

例) ムラサキカタバミ



しぼむ

～実～

例) マツボックリ



笠が閉じる

～生き物～

《動きだす生き物》

カタツムリ、アメンボ、カエル

《じっとしている生き物》

チョウ(葉の下)
アリ(行列がなくなる)

たねや木の実で遊ぼう

時期 いつでも

時間 1時間

場所 公園, 園庭, 園周辺

- 園周辺を散歩し、ドングリを集める。
- ドングリを使って遊んだり、飾ったりする。

ねらい

- 親しむ**
- ・木の実を見つけたり、飾ったり、つぶしたりして木の実に親しむ心情を育てる。
 - ・木の実で遊びながら、秋の自然を遊びに取り入れる態度を育てる。

幼児



活動展開例

準備物	・ドングリを入れる袋や容器		
展開	時間	活動内容	留意点
	事前	○ドングリごまやじろべえで遊ぶ。 ○「どんぐりころころ」を歌う。	・ドングリに興味をもてるように環境を整える。 ・ドングリが実っている木がどこにあるかなどあらかじめ調べておく。
	10分	○ドングリが落ちている公園へ行く。	・落ちている場所などを話題にする。 ・幼児の安全に留意する。
	20分	○ドングリを集める。	・様々な形のドングリを集められるようにする。 ・ハチなどの危険な生き物に注意する。 ・落ち葉の下生き物や他の木の実にも気付くように言葉をかける。
	30分	○園に戻り、ドングリを使って遊ぶ。 ・ままごと ・写真フレーム作り ・ドングリごま, ドングリ人形	・事前にドングリを使った遊び方を研究しておく。 ・遊びの発展によって, 道具などを準備する。
事後	○いろいろな木の実で遊ぶ。	・幼児の興味に応じて, 並べたり, つぶしたり飾ったりできるように材料や道具を整えておく。	

活用ガイド

○遊び方

幼児



集める

『ドングリ』
 ・コナラ ・クヌギ ・クリ
 ・ブナ ・シラカシ
 ・カシワ ・ミズナラ
 『マツボックリ』
 『オシロイバナの実』



飾る

例) 写真フレーム
 リース 時計

ひまわりの種

クルミ



ドングリ

ひまわりの種

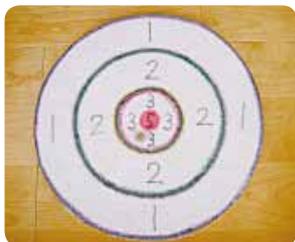
つぶす・染める

『ヤマゴボウ』
 『桑の実』
 『オシロイバナの実』
 ~つぶす道具~
 すり鉢, すり棒, 石, 棒



勝負

例) コマ, コリントゲーム,
 ピタゴラ装置,
 ダーツ



~くつつく実~
 『オナモミ』
 『イノコヅチ』
 『アメリカセンダングサ』
 (P33「たねの不思議」参照)

見立てて遊ぶ

例) おままごと



ドングリケーキの
 出来上がり!



プリンもあるよ!

作って遊ぶ

例) ドングリ人形, やじろべ



『ホオズキ』
 ホオズキ風船
 『数珠玉』
 ネックレス

ドングリは湿った砂に埋めておくと、程よい湿り気が保たれて、穴を開けたり、削ったりしやすくなります。

食べる

『栃の実』
 『ドングリ』

本プログラムの作成において参考とした文献

- 岩藤 しおい 「森の工作図鑑< vol.1>どんぐり・まつぼっくり」 いかだ社 (2006)
- 盛口 満 「ひろった, あつめた ぼくのドングリ図鑑 (ちしきのぼけっと12)」 岩崎書店 (2010)
- こうや すすむ 「どんぐり (かがくのとも傑作集どきどき, しぜん)」 福音館書店 (1988)
- いわさ ゆうこ・大滝 玲子 「ひろってうれしい知ってたのしいどんぐりノート」 文化出版社 (1995)

栃木県内で見られる主なドングリとドングリの木の葉

- ドングリの図は、実物とほぼ同じ大きさです。
- 葉の図は、実物の半分の大きさを表しています。

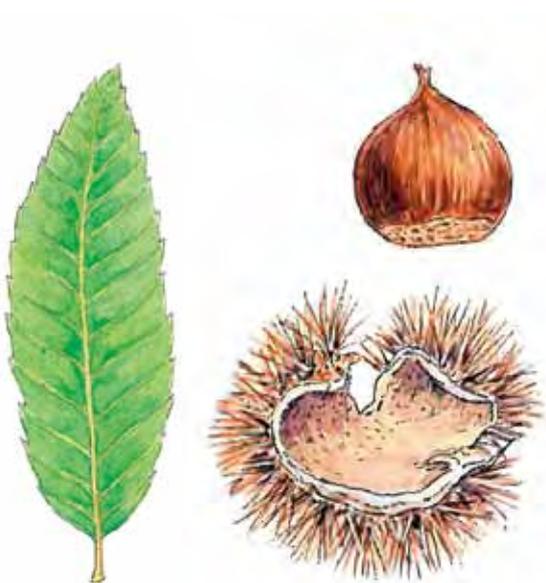
コナラ



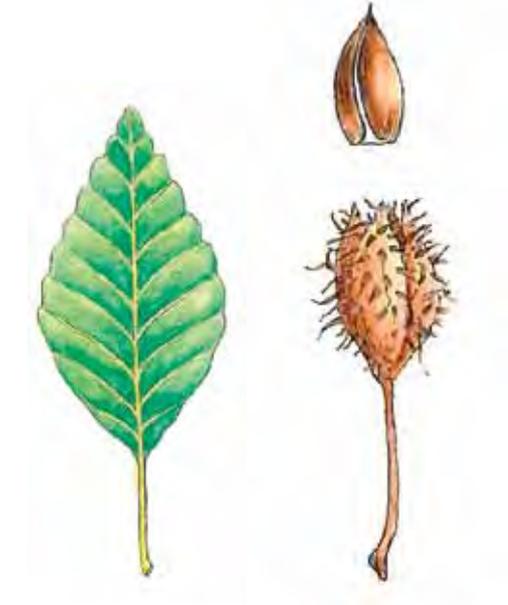
クヌギ



クリ



ブナ



幼児



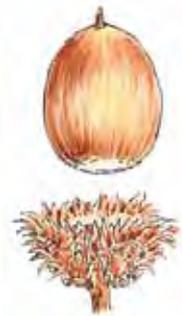
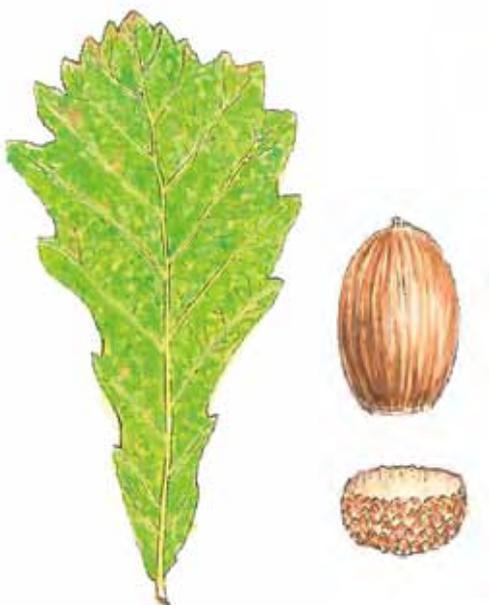
シラカシ



カシワ



ミズナラ



幼児



これって、こおり？

時期 冬

時間 1時間

場所 園庭，園周辺など

- 遊びや生活の中で，いろいろな氷を発見する。
- 雪や氷の性質を感じながら遊ぶ。

ねらい

- 親しむ** ・様々な形の氷や霜柱を見つけ，触れた感触やその不思議さを通し，冬の季節や環境への興味や関心を育てる。

幼児



活動展開例

準備物	・洗面器 ・ポリ袋 ・カップ ・シャベル		
展開	時間	活動内容	留意点
	事前	○氷や霜柱に関する絵本の読み聞かせを聞く。	・冬の寒さや水などに関心がもてるようにする。
	40分	○水たまりなどに張った氷を，手にとったり足で踏んだりして楽しむ。 ○霜柱を踏んでその感触を楽しむ。 ○霜柱や氷を袋に入れて集める。	・幼児の様々な反応に，共感し，受けとめる。 ・幼児の気づきや発見に耳を傾け，周りの子に知らせる。 ・霜柱や氷が時間の経過や気温の上昇によって，とけて水になることに気付かせる。
	20分	○カップなどに水を入れて，いろいろな場所に置いてみる。 (置く場所や水の量，カップ容器の素材を工夫し，でき具合を試す。)	・水から氷になることにも興味をもてるような言葉かけをする。 ・置く場所や水の量などは，幼児に任せる。 ・次の日にどうなっているか，幼児なりに考えられるような言葉かけをする。
事後	○水の中に好きなものを入れたり色をつけたりして凍らせて遊ぶ。	・幼児の「こうなるかもしれない」「どうなるかな？」などの予想や疑問を大切に，自分なりに試せるように環境を整える。	

活用ガイド

アイスクャンディー作り

●用意するもの

・バケツ ・試験管（のようなもの） ・割り箸 ・ジュース ・塩

①バケツに雪をたくさん詰めます。

②試験管の中に割り箸1本とジュースを入れます。

③バケツの中の雪に塩をふりかけ、ジュースの入った試験管をバケツの雪の中に差し込みます。

④そのまま少し待つと、ジュースが凍ってアイスクャンディーのできあがり！！

幼児



動物の足あとさがし



この足あと、
どんな生き物の足あとかなあ？

いろいろな場所で、
いろいろな霜をみつけよう！



たくさんの体験をして
『冬』を楽しもう！

雪遊びって楽しいね！！
雪だるま・かまくら・雪合戦・雪すべり・・・。

